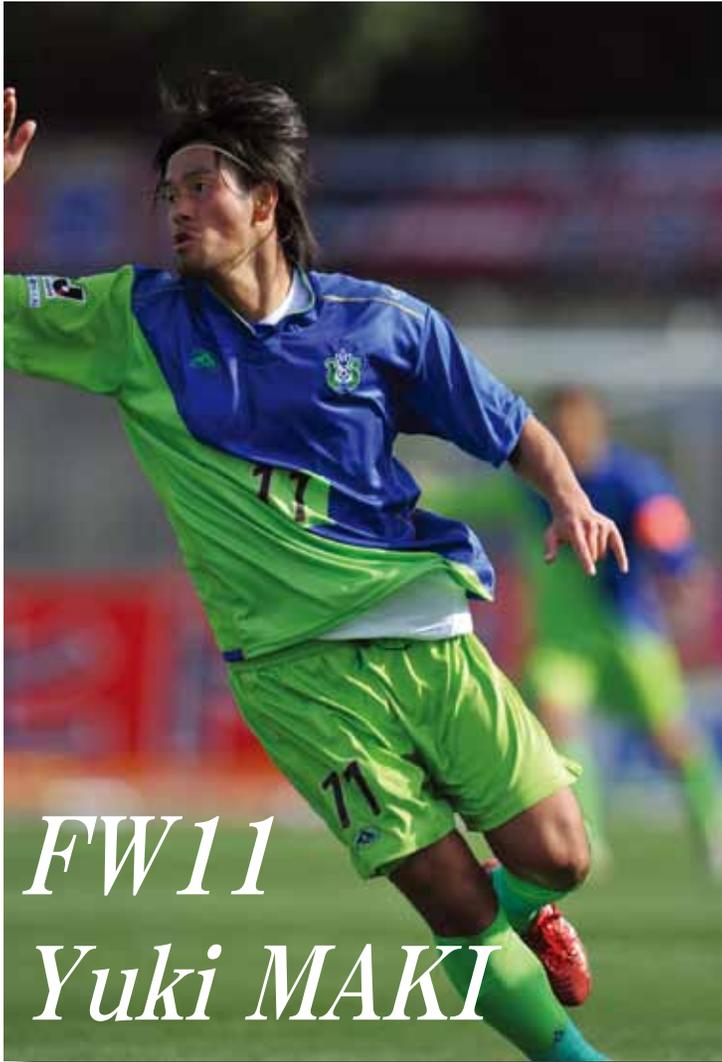


「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグチームのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい。そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ

ただチームの昇格のために ～巻佑樹、全力の献身～



FW11
Yuki MAKI

◆まず開幕戦 90分戦ってみてどうでしたか？

岡山戦はDFもしっかりやれたし、いい形からボールを取って攻撃することができて、ゴールにつながったので、自分のやりたいサッカーがしっかり出来たと思います。とくに竜太（佐々木竜太選手）とは練習からお互いの要望や考えを言い合ってきたし、常に僕の動きを見てくれているので、うまくつながって得点できて良かった。練習の成果です。自分で得点することはできなかったのが悔しさが表にでてしまったけれど『チームのために戦うことはできた』ので、あせらず次の試合に臨みたいと思っています。

◆巻選手はどういった思いで湘南にきたのでしょうか。

自らの出場機会を求めて。そして昨年湘南がああいう形でJ2に降格してしまったのを見て、自分を含めた「湘南」というチームが内側から変わっていったら、と思ったんです。名古屋での経験なんですけど、明らかにチームの雰囲気以前とは変わってその先に優勝があった。僕が湘南に入ることによって同じように変化し、絶対にもう一度みんなでJ1に上がる、という強い気持ちでここにきました。

昇格に向けて戦力となることはもちろんですが、メンタリティとかモチベーションとか、内面的な部分を変えてあげたい。そこが変われば、必ず試合にもいい影響を及ぼすはず。

◆お兄さんはワールドカップ出場経験もある巻誠一郎選手。お姉さんはハンドボール日本代表にも選出された巻加理奈選手。そういうご家庭は巻選手にどのような影響を与えたのでしょうか。

両親は僕たちのやりたいことを自由にやらせてくれていたし、サポートもしてくれてとても感謝しています。兄はいつも自分より上のステージでやっていたので、それを目標にしていたという部分はありますね。兄のプレーを見て勉強することもあります。それは他の選手を見るより、自分と一番プレーが近いと思っているから。でも2人でサッカーの話をすることはほとんどありません。今年の正月に実家で

兄と顔を合わせたときに言われたんですよ。「お前、湘南に移籍したの？新聞見て知ったんだけど…。そういうのやめてくれる？ちゃんと報告してよ。恥ずかしいよ」って。でも僕も兄が海外に移籍することを他の人から聞いて「ロシア行くの？マジで？」みたいな感じでした。ゆる～い家族です。

◆オフのときはどのように過ごしていますか？

名古屋にいたときはよくチームメイトと一緒にゴルフに行っていました。すぐリフレッシュできるので。でもやりすぎて一時クラブからゴルフ禁止令がでました（笑）湘南に来てからは行ってないですね。出かけるというと豊さん（田原 豊選手）とご飯を食べに行ったり。見た目も似ているけれど行動パターンも似ているんですよ。

◆湘南のサポーターにメッセージをお願いします。

ピッチの中でサッカーが出来るのは僕らだけなので、応援してくれるサポーターのみんなが歯がゆい思いをしないようなプレーをしたい。僕らは自分たちに出来ることを全力でやっていくので、一緒に戦いましょう。

◆野球の斎藤佑樹選手は「仲間」を持っていると言いましたが、巻佑樹選手は何を持っているのでしょうか。

そうですね…。「空気」を持っている。まわりが何かいい雰囲気になる空気を持っていると思います。いいですか？そんな感じで（笑）



巻 佑樹 (まき ゆうき) Profile

1984年6月26日生まれ(26歳) 熊本県出身 FW
2011名古屋グランパスより移籍加入 183cm / 79kg

2011 開幕戦に勝利！

ホーム平塚で、岡山を相手に5-0

「1年でJ1復帰」。再起を図る2011年J2リーグの開幕戦をホーム平塚競技場で迎えた湘南ベルマーレ。ファジアーノ岡山を相手に5発のゴールラッシュで快勝した。

先取点の起点となったのはアジエル。前半7分、右サイドの高い位置でボールをキープ。駆け上がる永木(MF)にヒールパスを送った。永木からの正確なクロスに、新加入の大井(DF)がヘッドで合わせゴール。その後も新加入、佐々木(FW)が2得点、ベテラン白井(DF)と得点をかさね、最後はアジエルがPKを決めるなど、大量5得点。守っても攻守の速い切り替えで岡山のカウンターを許さず、失点をゼロに抑えた。

両すねの疲労骨折により昨年は一度もピッチに立てなかったアジエル。「こうして試合に出られて、みんなと勝利をかち合うことができて幸せ」と喜びをかみしめた。



笑顔でスタンドの声援に応えるアジエル(MF)。公式戦の出場は2009年12月の最終節以来。PKを決めたあとは大歓声のサポーターの元へ駆け寄った。



試合後、笑顔で喜び合う2得点の佐々木(写真左)と攻守にわたって献身的なハードワークを続けた巻(FW)。2トップはともに新加入ながら、コンビネーションは上々のようだ。



リーグ戦では10ヶ月ぶりのホームでの勝利のダンス。新加入選手が多いせいか、少々ぎこちない足取りです。

東北地方太平洋沖地震の影響により

3月開催のJリーグ全試合が中止となりました。

3月開催予定のJリーグ(J1第3節、J2第3節～第4節)、2011 Jリーグ ヤマザキナビスコカップ予選リーグ第1節～第2節の全試合について、開催中止となりました。なお、代替日および中止となる試合の入場券の取り扱いにつきましては、決定次第発表となります。

東北地方太平洋沖地震に対する湘南ベルマーレ反町康治監督のコメント

この度の東日本大震災で被災されたすべての方に心よりお見舞いを申し上げます。苦しい思いをされている方々のことを思うと心が痛みますが、私たちは、自分たちができることは何であるかを考え、歩みを止めずに進んでいかなければならないと思います。

スポーツの力によって、これまで多くの人が勇気を与えられ、希望をもって前進することができたように、湘南ベルマーレとして一人ひとりが自覚をもって行動していくことで、大きな力を生み出すことができたらと思っています。

まずは、来るべきリーグ戦再開に向け、選手たちとともにしっかりと準備をしていきたいと思っています。

山口貴弘選手会長のコメント

自分たちの気持ちとしては、すぐにでも被災地へ行き力になりたいという思いですが、それが叶わないので、一人ひとりができることからしっかりとすることが大切だと思っています。今こそ一人ひとりの自覚が大事だと感じています。自分たちができることについて、選手同士でも話し合っていますが、日々状況が変わっていくと思いますので情報を入れながら、その時々に必要なことに対応していきたいと思っています。

また、サッカー選手としてピッチで全力でプレーすることが使命だと思いますので、リーグ戦再開に向けてしっかりと準備し努力していきたいと思っています。

今回の地震で被災された多くの方々のお見舞いを申し上げます。そして1日も早い復興を心から祈っています。